令和4年度 調布市社会福祉協議会　調布市福祉人材育成センター研修

専門研修のご案内【1～3月】

調布市内で働く福祉職のスキルアップのための研修です。

	研修名	日時	講師	定員
①	【集合】 計画相談支援研修（加算編）	1/25（水） 14：00～16：00	小島秀人　氏 （障害福祉課）	20名
②	【集合】 障害福祉サービスの請求事務の基本	2/2（木） 10：00～12：00	石川大貴　氏 （障害福祉課）	20名
③	【集合】 障害者虐待防止研修	2/24（金） 10：00～11：30	針ヶ谷かおり　氏 （障害福祉課）	50名
④	【Zoom】 福祉職が知っておきたい発達障がい・てんかんの薬	2/25（土） 10：00～12：00	中川栄二　氏 （国立精神・神経医療研究センター）	なし
⑤	【集合】 相談援助職への暴力・ハラスメント研修	2/28（火） 10：00～12：30	副田あけみ　氏 （東京都立大学）	25名
⑥	【集合】障害者虐待防止研修 援助職のダークサイドを考える	3/3（金） 10：00～12：30	結城俊哉　氏 （立教大学）	25名
⑦	【集合】 BCP（事業継続計画）策定研修 （通所事業所向け）	3/17（金） 10：00～13：00	小島秀人　氏 （障害福祉課）	30名

◆参 加 費◆ 無 料

◆対 象◆ 調布市内在勤の福祉職員

◆場 所◆ ①・②　⇒　調布市こころの健康支援センター別館2階研修室
③・⑤・⑥・⑦　⇒　調布市こころの健康支援センター本館2階健康活動室AB

◆申 込◆ 申込フォームにて受付　（https://forms.gle/xVQzpXmALw3dKFFZ7）

QR コードからも読み取れます　☞

◆申込期間◆ 12/22（木）から申込開始　各研修2日前まで受付

※定員になり次第、受付を終了いたします。申込多数の場合、事業所ごとの参加人数を制限させていただきますので、ご了承ください。

【問い合わせ先】
調布市福祉人材育成センター（こころの健康支援センター内）（月～金　9:00～17:00）

TEL：042－452－8180　FAX：042－444－3376　メール：jinzai@ccsw.or.jp　HP☞

①	**【集合】1/25（水）14:00～16:00 計画相談支援研修（加算編）**	**○講義 ○場所：こころセンター別館2階研修室**
	「計画相談支援」「障害児相談支援」に関わる職員向けの研修です。「どの加算が対象となるのか」、「どういった要件をクリアすれば加算を算定できるのか」、「加算についての記録はどのようにすればいいのか」など、加算の種類や算定要件を学びます。加算について体系的な知識を得て算定することで、安定した事業収入を確保できるようになります。	**小島秀人 氏 （障害福祉課）**

②	**【集合】2/2（木）10:00～12:00 障害福祉サービスの請求事務の基本**	**○講義 ○場所：こころセンター別館2階研修室**
	国民健康保険団体連合会（国保連）への請求事務を担当する職員向けの研修です。施設の運営費となる利用料（介護給付費、訓練等給付費等）を確実に請求するために「返戻」や「過誤」などの用語の意味や手続きの流れ、調布市における受給者証発行・期間設定のルール、よくある請求誤りの事例など、請求事務にまつわる基本的なことを学びます。	**石川大貴 氏 (障害福祉課)**

③	**【集合】2/24（金）10:00～11:30 障害者虐待防止研修**	**○講義 ○場所：こころセンター本館2階健康活動室 AB**
	障害者虐待の早期発見や予防推進を図るための研修です。障害者虐待とは何か、障害者虐待の実態などを市内の相談事例などを取り上げながら学びます。 身体拘束等の適正化の更なる推進について、事業所が取り組むべき事項等を詳しく学びます。	**針ヶ谷かおり 氏 (障害福祉課)**

④	**【Zoom】２/２５（土）１０：００～１２：００ 福祉職が知っておきたい発達障がい・てんかんの薬**	**○講義 ○Zoom**
	放課後等デイサービスや就労継続 B 型事業所、生活介護事業所などの利用者のなかには、発達障がいやてんかんの薬を服用している方が少なくありません。そういった利用者を支援するためには、福祉職として正しい薬の知識を身につけることが必要です。そこで、本研修では薬の種類や効果、注意事項等を学びます。	**中川栄二　氏 （国立精神・神経医療研究センター）**

＊＊

《中川栄二先生プロフィール》

国立精神・神経医療研究センター特命副院長、外来部長、てんかん診療部長、総合てんかんセンター長。小児科学会専門医、てんかん学会専門医・指導医、など。

---

⑤

【集合】2/28（火）10：00～12：30

相談援助職への暴力・ハラスメント研修

○講義・グループワーク

○場所：こころセンター本館2階健康活動室 AB

地域包括職員、ケアマネジャー、虐待担当職員、生活保護担当職員、福祉資金貸付担当職員、相談支援専門員などの相談援助職は、利用者や家族への支援のなかで暴力やハラスメントを受けることがあります。暴力やハラスメントを経験した相談援助職は、「利用者に病気や障害があるから」「生活上の困難を抱えているから」「自分の支援の力量が不足しているから」などの理由で仕方がないと受け止めてしまうことがあります。しかし、暴力やハラスメントは、受けた人のこころや体を蝕み、安心して働き続けることを困難にします。

そこで、本研修では職員が安心して働き続けられるようにするために、相談援助職への暴力・ハラスメントの実態やその背景について学び、対応方法について参加者どうしで考えます。

＊＊

《副田あけみ先生プロフィール》

東京都立大学名誉教授。高齢者介護福祉やソーシャルワーク、ケアマネジメントに関する研究を多く行ってきた。著書に『介護職・相談援助職への暴力とハラスメント』（勁草書房、共著）、『チーム力を高める多機関協働ケースカンファレンス』（瀬谷出版、共著）、『多機関協働の時代―高齢者の医療・介護ニーズ、分野横断的ニーズへの支援―』（関東学院大学出版会）ほか多数。

副田あけみ氏

（東京都立大学名誉教授、安心づくり安全探しアプローチ（AAA）研究会事務局長）

---

⑥

【集合】3/3（金）10：00～12：30

障害者虐待防止研修　　援助職のダークサイドを考える

○講義・グループワーク

○場所：こころセンター本館2階健康活動室 AB

日本では近年まで、「旧優生保護法」の下、障がい者に強制不妊手術を受けさせるという国家的な人権侵害が行われてきました。2016 年に「障害者差別解消法」が施行されてからも施設内での障がい者、高齢者に対する虐待事件は起こり続けています。

本研修では、これまで「虐待予防」や「ケアの本質・実践とは何か」について考え、自らも悩み続けながら現場の福祉職を応援している立教大学の結城俊哉先生をお招きし、援助職（ケアの担い手）による虐待問題と優生思想について考えます。利用者との援助関係において生じる「怒りや悲しみ、恐れや不安」など様々な否定的感情にさらされる援助職のこころの闇（ダークサイド）から虐待や差別を捉える研修です。特に援助職が「こころの健康」を保ちながら働き続けるのに役立つ内容です。

＊＊

《結城俊哉先生プロフィール》

立教大学コミュニティ福祉学部教授。主な研究テーマは障害福祉学、ノーマライゼーション、福祉文化論。東日本震災以後の被災地におけるコミュニティの

結城俊哉氏

（立教大学教授）

	リジリエンスとケアの方法について基盤研究や、障害者の自己表現活動としてのアール・ブリュットなどの研究に取り組む。著書に『ケアのフォークロア　対人援助の基本原則と展開方法を考える』（高菅出版）、『共に生きるための障害福祉学入門』（大月書店、編著）などがある。	

⑦	**【集合】3/17（金）10：00～13：00** **ＢＣＰ（事業継続計画）策定研修（通所事業所向け）**	**〇講義** **〇場所：こころセンター本館2階健康活動室 AB**
	BCP とは、災害などの緊急事態における企業や団体の**事業継続計画**（Business Continuity Planning）のことです。具体的には、自然災害や感染症の感染拡大、テロ等の事件、ライフラインの断絶などの不測の事態が起こった場合に、重要な事業をできるだけ中断しないように、また中断したとしても短時間で復旧させるための方針、体制、手順等を整備した計画を言います。2024 年までに障害福祉サービス事業所での BCP の策定が義務化されました。 本研修では利用者や職員の安全を確保し、サービスを継続できるようにするため「感染症編」「自然災害編」それぞれの内容の策定のポイントについて学習するとともに、研修内で実際に策定作業を進めていきます。	**小島秀人 氏** **（障害福祉課）**

※④はＷＥＢ会議システム「ＺＯＯＭ」を使用してのオンライン開催となります。カメラ付パソコンもしくはタブレット端末からの参加をお願いします。参加方法に関しては、参加決定者に別途ご案内させていただきます。

※2/19（日） 第6回ちょうふ福祉実践フォーラム「今こそ福祉現場で性教育とジェンダーについて考える」を開催します。
チラシは別途ご案内いたします。

※①の計画相談支援研修（加算編）以外は、**障害福祉サービス等事業所施設運営費補助金の補助要件となります**。補助要件につきまして、ご不明な点は調布市障害福祉課にお問合せください。

調布市福祉人材育成センター